

# 室内温水プール建設のための早期検討求める 請願書

## 【要旨】

令和2年に民営スイミングスクールが、令和5年には公設の寿和温泉プールが閉鎖したことにより子供たちは泳力向上のため、大人は健康やリハビリのため近隣市の温水プールまで通わざるを得ない状況が発生しました。しかし高齢者は遠隔地までの運転に不安を感じ、その多くがやめてしまい自身の健康維持に不安を抱える状況となっています。また、スポーツ競技として水泳を選択し、研鑽を続ける子供たちを通わせる保護者にとっても、時間や費用とも負担増となっています。これらを勘案し以下の趣旨に基づき請願書を提出するものです。

## 【請願趣旨】

### 1. 市内小中学校において、だれもが水泳授業が受けられる環境整備について

現在、小中学校に整備されているプールは老朽化が進んでいるところも多く、このような状況下、子ども達に水泳授業を受けさせるためには修繕等の高額な経費が予想されます。

また、最近の酷暑により、屋外設置の学校プールでの熱中症リスクが高まり、水泳授業や休業中のプール開放に支障が出ている状況です。

魚沼市の子どもたちに泳力を身に付けさせることは、競技水泳の振興を含め、生命を守る力を身につけさせる教育にも繋がることと考えます。

すでに中学生が水泳授業を行っていない現状を踏まえると、今後小学生の水泳授業もできなくなる可能性があるため、計画をもって検証作業に入る事を強く望みます。

### 2. 魚沼市が目指す予防医療による健康寿命延伸の実現に向けて

高齢化が顕著な魚沼市においては、予防医療による健康寿命の延伸への取り組みは重要で早急な対応が求められます。魚沼市が予防医療を目的に数々の事業に取り組んでいることは評価させていただいております。しかし、温水プールを利用した水中運動は、子どもの健全育成はもとより、生活習慣病対策、介護予防、障がい者の機能回復訓練やリハビリなど多くの成果が期待できます。水中運動に取り組む事で健康寿命延伸につなげ医療費や介護費の節減を図る事が将来負担減に繋がると考え早期検討を強く望みます。

## 【請願事項】

室内温水プール建設のための早期検討を開始すること。



令和 7年 2月 3日

魚沼市議会  
議長 森島 守人 様

室内温水プール建設のための早期検討を求める請願書

請願者

魚沼市葦沢 181-2  
魚沼市民温水プールを造る会  
代表 山田 たつ子



紹介議員

魚沼市 181-2

遠藤 徳一

